

のうがくかい 「なごやか農楽会」だより

第60号(10月号)
令和1年10月10日発行
なごやか農楽会事務局

地球温暖化と農業

10月になったというのに、まだまだ暑い日々が続いています。

港・中川支部の援農先でも7月、8月には苗の生育不良で援農中止ということもあり、改めて地球温暖化を痛感しました。

実は私、3年前より環境省の地球温暖化防止コミュニケーターに登録しております。

地球温暖化防止コミュニケーターとは、「世界の平均気温を産業革命以前から2℃未満に抑える」という国際的な目標を達成するために、気候変動問題への国民の理解と積極的な取組が喫緊の課題であることをあらゆる層の人々に伝え、ひいては民生部門におけるCO2の排出削減につなげること、地球温暖化に関する情報を人から人に直接伝える‘伝え手’としての活動です。

「地球温暖化」というと、気温が高くなってしまふことのみを、イメージしがちですがそれだけではなく、ゲリラ豪雨と言われる極端な降水、またあるところでは乾燥傾向になったり、破壊的な台風の発生等々、気候への様々な変化が環境に悪影響を及ぼすと考えられます。

すでに日本の農作物に高温障害が発生し、米の内部が白く濁ったり、米が割れるなどの品質低下が報告され、逆に北海道でブランド米が多種生産され収量も増加しています。

また、ぶどうは夏から秋にかけて暑い日が続くと果実の着色不良となるため見た目も悪く販売に大きく影響します。

農業は、気候に大きく左右される産業だからこそ、農業ボランティア活動を通じて、

「地球温暖化」考えてみませんか？

港・中川支部長 山内 伸明



(サツマイモ掘り)

研修会

秋の研修会について

秋の研修会は、あいち在来種保存会代表世話人高木幹夫さんによる『地元野菜の魅力と食のストーリー』についての講演会を開催しますので多くの会員の皆様の参加をお願いします。(詳細は、別添研修会案内をご覧ください)

日時：11月9日(土) 11:00~13:00

場所：農業センター 実習室

参加費： 2,000円

講演終了後 ジャガイモ・人参等の食べ比べ、地元野菜をつかったサンプル食品、種等が提供されます。

農楽コーナー

農業センターまっりの協賛

今年の農業センターまっりは11月2日(土)～4日(月・祝)に行なわれます。なごやか農楽会は、野菜(発芽観察)栽培セット・ペットボトル麦づくりセットの販売で協賛します。(なお当日の駐車場は有料です)

各支部の活動

てんぱく支部			
月	延人数	延時間	主な活動
7	48	146	カボチャ収穫、ヘタ取り、収穫ツアー、カボチャみがき・皿拾い、草取り、人参種もみ
8	13	39	かぼちやつる取り、ねぎ掃除、人参まき

みどり支部			
月	延人数	延時間	主な活動
7	19	38	からし菜収穫、なすなどの誘引、畑除草、きゅうりネット張り、モロヘイヤ、なす・ピーマン誘引
8	0	0	夏休み

もりやま支部			
月	延人数	延時間	主な活動
7	28	56	マルチ取り外し、草取り、玉ネギの根切り落とし、ブドウつるきり、枝切り、ブルーベリー収穫、
8	35	70	マルチ片付け、玉ねぎ皮むき、トマト畑整理、ブドウ枝キリ、ビニール屋根撤去、カラス対策、ブドウ収穫、ブルーベリー収穫

港・中川支部			
月	延人数	延時間	主な活動
7	62	236	ステイサポートの錆取り、糸貫作業、スイカ、カボチャ、ナスの収穫、草取り、野菜販売、トウモロコシ、枝豆試食、ほうれん草・小松菜播種
8	40	126	畑の草取り、畝作り、人参種まき、

評議会報告

8月度会議(休 み)

9月度会議(9月21日開催)

報告事項

- ① 各支部長より、前月の活動報告、当月の活動計画の説明がなされました。

審議・検討・依頼事項

- ① 秋の研修会について
『地元野菜の魅力と食のストーリー』、申込み方法・担当等詳細について審議
- ② 農業センター祭りについて
野菜(発芽観察)栽培セット・ペットボトル麦づくりセットの販売の詳細を審議
- ③ ボランティア育成講座受講生に援農活動の説明会を10月19日に行う。
- ④ 農楽会20周年企画の会場・実行委員会の検討を行なった。
- ⑤ 農楽会だより掲載の農家訪問・紹介の検討を行なった。
- ⑥ 新規で3件の援農依頼有り。港区なので他支部応援等での援農の検討。
- ⑦ JAとの連携が前向きに進み出した。当初は評議員を中心に試験運用。

あ と が き

本号は、研修会の申し込みについて早く連絡するために前倒しで発行しました。今回の講師は昨年研修会を行なった「あぐりタウン『げんきの郷』」の総括部長をしていた方で、シニア野菜ソムリエでもあります。地元野菜・伝統野菜について興味あるお話が聞けることと思います。多く方の参加を期待しています。暑い夏も終わり、やっと朝夕涼しくなりました。これから援農しやすい気候となってきます。元気に援農しましょう。

(事務局発行担当 水野・川合)

令和元年度なごやか農楽会研修会について

1. 研修場所 名古屋市農業センター 農業指導館実習室
正門 右側の建物内（総会の場所講堂の食堂はさんで反対側の部屋）

2. 研修内容

(1) 実施日 令和元年 11 月 9 日（土） 11:00～13:00

(2) 会費 2,000円 当日、研修会場にて徴収いたします。

(3) 募集人員 40名程度

(4) 内容 講師 高木 幹夫（あいち在来種保存会代表世話人・
日本野菜ソムリエ協会講師）

講師による講演「地元野菜の魅力と食のストーリー」

ジャガイモ、人参等（在来種、市販品）の食べ比べ

参加者へのお土産 知多たまねぎ（あいち伝統野菜）のレ
トルトスープ等
在来種保存会所有の種子

（食べ比べがあるので 実習室で講演を行ないます）

3. 申込について

農楽会たよりが郵送の方（メールのない方）

出席を希望される方は、同封の研修会申込書（ハガキ：各自で切手を貼付願
います）所属支部、お名前、第何期を 記入して返送願います。

送り先 名古屋市港区七島 2-250 木村弘昭（農楽会）宛 090-6583-7103
〒455-0852（はがきに印刷済）

農楽会たよりがメール送信の方

メールで申してください。 件名 農楽会研修会参加 申し込み
メールの記載内容 所属支部、お名前、第何期

送信先 川合 農楽会事務局宛 メール m-k@mwd.biglobe.ne.jp

（なお、農楽会たよりに返信しても 送信専用のため届きません）

返送期日：10月25日迄（必着）

以上